

## 平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 株式会社 ワールドインテック

上場取引所 JQ

コード番号 2429 URL <http://www.witc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 伊井田 栄吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営マネジメント本部長 (氏名) 菅野 利彦

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 093-533-0540

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	21,688	—	125	—	256	—	△22	—
20年12月期第3四半期	37,783	12.2	1,379	110.5	1,591	51.1	724	85.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	△421.31	—
20年12月期第3四半期	13,118.51	13,000.08

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	9,170	—	4,573	—	43.4	—	73,565.99	—
20年12月期	11,676	—	4,698	—	35.1	—	74,212.08	—

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 3,980百万円 20年12月期 4,101百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	1,300.00	1,300.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	1,300.00	1,300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	△42.0	340	△68.8	360	△71.8	50	△74.0	920.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 株式会社ワールドサーチアンドコンサルティング )  
(注)詳細、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)詳細、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第3四半期 55,760株 20年12月期 55,745株  
② 期末自己株式数 21年12月期第3四半期 1,654株 20年12月期 482株  
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第3四半期 54,261株 20年12月期第3四半期 55,227株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。  
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整の一巡や経済対策の効果等により企業収益の悪化に歯止めがかかり、景気は下げ止まりつつあります。しかしながら、企業活動は低水準にとどまっており、雇用・所得環境は一段と厳しさを増すなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループが属する人材ビジネス業界におきましては、需要が急減した後も大きな回復が見られず、製造各社においては監督省庁の動向を踏まえ慎重な対応が散見され、また一部企業の中には国内から海外への生産シフトの動きが見られるなど、業界を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況下、当社グループにおいては、一部顧客の受注回復が見られる中で本格的な人材需要回復期に向けた基盤の構築に注力いたしました。前年度末より実施しております構造改革により収益性の改善を図るとともに、請負化へ向けた顧客対応の強化や新規市場開拓も積極的に展開いたしました。また、行政と地元製造企業との連携の中では、将来を見据えた「ものづくり人材育成事業」に取り組み、地元企業への就職支援活動も行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,688百万円、営業利益は125百万円となり、営業外収益として助成金収入99百万円等を計上し、経常利益は256百万円となりました。また、投資有価証券評価損98百万円を特別損失として計上いたしました。法人税等においては、一部赤字子会社の繰延税金資産の回収可能性の見直しを行った結果、193百万円と膨らみ、少数株主利益11百万円を控除した四半期純損失は22百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(ファクトリー事業)

ファクトリー事業は第1四半期における自動車・半導体関連企業の生産減による大幅な雇用調整が影響しましたが、得意分野とする請負を中心とした受注増加や、新規市場の開拓、間接部門のコスト削減を行った結果、売上高は9,873百万円、営業利益は440百万円となりました。

(テクノ事業)

テクノ事業は技術分野の需要が低迷する中で、請負化の推進、新規市場の開拓、間接部門のコスト削減を行った結果、売上高は4,337百万円、営業利益は264百万円となりました。

(R&D事業)

R&D事業は景気変動が少ない研究開発分野の中で新たに大学・公的研究機関に事業展開を行った結果、売上高は1,477百万円、営業利益は103百万円となりました。

(各種サービス事業)

各種サービス事業は販売系人材派遣の需要が低迷したことから、売上高は753百万円、営業損失は73百万円となりました。

(情報通信事業)

情報通信事業は携帯ショップ事業の市場が低迷する中で、販売体制の見直しや経費の抑制等を実施したことから、売上高は5,246百万円、営業利益は90百万円となりました。

なお、各事業の営業損益は配賦不能営業費用710百万円控除前の営業損益であります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,170百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,505百万円の減少となりました。これは主に売上高減少に伴う受取手形及び売掛金の減少額1,103百万円、現金及び預金の減少額565百万円、及び投資有価証券の減少額413百万円等によるものであります。

負債につきましては負債合計が4,597百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,381百万円の減少となりましたが、これは主に未払費用の減少額1,517百万円、及び未払消費税等の減少額355百万円等によるものであります。

純資産につきましては純資産合計が4,573百万円となり、前連結会計年度末と比較して124百万円の減少となりましたが、これは主に利益剰余金の減少額94百万円、及び自己株式の増加額30百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,151百万円となり、前連結会計年度末と比較して565百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは757百万円の支出となりました。主なプラス要因は売上債権の減少額1,099百万円等によるものであり、主なマイナス要因は未払費用の減少額1,518百万円、法人税等の支払額486百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは424百万円の収入となりました。主なプラス要因は投資有価証券の売却による収入311百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは233百万円の支出となりました。主なプラス要因は長期借入れによる収入400百万円、短期借入金の純増加額286百万円等によるものであり、主なマイナス要因は長期借入金の返済による支出818百万円、配当金の支払額71百万円等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年12月期の連結業績予想につきましては、平成21年7月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において業績予想の修正を行っており、その後の変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式会社ワールドサーチアンドコンサルティング（本店 東京都中央区）については、平成21年3月30日付にて清算決したため、当第3四半期連結累計期間より除外しております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,184	3,749
受取手形及び売掛金	3,041	4,144
有価証券	10	105
商品	264	368
仕掛品	234	177
繰延税金資産	30	43
その他	578	643
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	7,337	9,225
固定資産		
有形固定資産	699	759
無形固定資産		
のれん	133	193
その他	36	45
無形固定資産合計	170	239
投資その他の資産		
投資有価証券	352	765
繰延税金資産	158	159
その他	485	560
貸倒引当金	△32	△33
投資その他の資産合計	963	1,452
固定資産合計	1,833	2,451
資産合計	9,170	11,676
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	528	425
短期借入金	855	651
未払費用	1,618	3,135
未払法人税等	71	220
賞与引当金	164	29
受注損失引当金	71	38
その他	732	1,584
流動負債合計	4,041	6,086
固定負債		
長期借入金	319	654
退職給付引当金	212	216
役員退職慰労引当金	21	19
その他	2	2
固定負債合計	555	892
負債合計	4,597	6,978

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	697	697
資本剰余金	860	860
利益剰余金	2,546	2,641
自己株式	△100	△70
株主資本合計	4,004	4,128
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4	△7
為替換算調整勘定	△18	△19
評価・換算差額等合計	△23	△27
少数株主持分	593	597
純資産合計	4,573	4,698
負債純資産合計	9,170	11,676

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	21,688
売上原価	17,677
売上総利益	4,010
販売費及び一般管理費	3,884
営業利益	125
営業外収益	
助成金収入	99
その他	99
営業外収益合計	199
営業外費用	
支払利息	19
投資事業組合運用損	12
持分法による投資損失	22
その他	13
営業外費用合計	67
経常利益	256
特別利益	
投資有価証券売却益	24
特別利益合計	24
特別損失	
投資有価証券評価損	98
特別損失合計	98
税金等調整前四半期純利益	182
法人税等	193
少数株主利益	11
四半期純損失(△)	△22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	182
減価償却費	95
のれん償却額	71
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	135
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2
受取利息及び受取配当金	△5
支払利息	19
投資有価証券売却損益 (△は益)	△24
投資有価証券評価損益 (△は益)	98
売上債権の増減額 (△は増加)	1,099
たな卸資産の増減額 (△は増加)	47
仕入債務の増減額 (△は減少)	102
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,518
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△362
その他	△226
小計	△254
利息及び配当金の受取額	5
利息の支払額	△20
法人税等の支払額	△486
営業活動によるキャッシュ・フロー	△757
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△42
定期預金の払戻による収入	42
有価証券の取得による支出	△64
有価証券の売却による収入	164
有形固定資産の取得による支出	△36
無形固定資産の取得による支出	△10
投資有価証券の取得による支出	△2
投資有価証券の売却による収入	311
敷金及び保証金の純増減額 (△は増加)	71
その他	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	424
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	286
長期借入れによる収入	400
長期借入金の返済による支出	△818
株式の発行による収入	0
自己株式の取得による支出	△30
配当金の支払額	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△565
現金及び現金同等物の期首残高	3,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,151



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)

	ファクトリー事業 (百万円)	テクノ事業 (百万円)	R&D事業 (百万円)	各種サービス事業 (百万円)	情報通信事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客 に対する 売上高	9,873	4,337	1,477	753	5,246	21,688	—	21,688
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	57	—	—	—	57	(57)	—
計	9,873	4,394	1,477	753	5,246	21,745	(57)	21,688
営業利益又は営業損失 (△)	440	264	103	△73	90	825	(699)	125

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主なサービス

- (1) ファクトリー事業…製造系業務請負及び人材派遣等
- (2) テクノ事業…技術系業務請負及び人材派遣等
- (3) R&D事業…研究開発系人材派遣等
- (4) 各種サービス事業…総合人材派遣、販売・オフィス系人材派遣、人材紹介、システム開発の受託業務等
- (5) 情報通信事業…コールセンター、OA機器販売、通信機器販売等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年1月1日～9月30日)

	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	
区分	金額(百万円)	
I 売上高		37,783
II 売上原価		31,110
売上総利益		6,672
III 販売費及び一般管理費		5,292
営業利益		1,379
IV 営業外収益		279
V 営業外費用		68
経常利益		1,591
VI 特別損失		7
税金等調整前中間純利益		1,583
法人税、住民税及び事業税	780	
法人税等調整額	△23	757
少数株主利益		101
四半期純利益		724